

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 1 日現在

機関番号：12401

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2008～2011 年度

課題番号：20720120

研究課題名 (和文) 明治大正期関西弁の史的研究

研究課題名 (英文) Historical research of Kansai dialect in Meiji and Taisho period

研究代表者 埼玉大学・教育学部・准教授

村上 謙

(Ken MURAKAMI)

研究者番号：20431728

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・日本語学

キーワード：日本語史

## 1. 研究計画の概要

明治大正期の関西弁資料の発掘とその資料的価値の検証。また、明治大正期の関西弁における文法問題の抽出、及びその研究と解明。以下、計画の概要を年度ごとに記す。

## (1)平成 20 年度

曾我廼家五郎脚本資料および上司小剣作品群の資料収集と基礎的調査。

## (2)平成 21 年度

曾我廼家五郎脚本資料および上司小剣作品群の収集と基礎的調査 (前年度の続き)。また、上司小剣作品の資料的価値の検証と大正期関西弁の特徴の抽出。

## (3)平成 22、23 年度

上記資料群の資料的価値の検証と大正期関西弁の特徴の抽出 (前年度の続き)。また、それらを用いた個別具体的な課題についての研究。

## 2. 研究の進捗状況

極めて順調である。以下、年度ごとに詳細を記す。

(1)20 年度は明治大正期関西弁資料として重要であると思われる 2 種類の資料の収集を中心に行った。具体的には、以下のとおりである。

①上司小剣による関西弁小説の収集と基礎的調査

②曾我廼家五郎による脚本の収集と基礎的調査

上司小剣作品群については、いくつかの作品をテキストデータ入力する機会を得、そのための謝金を支出した。その結果、用例調査、分析などが極めて効率的に行えるようになった。

(2)21 年度は前年度に引き続き、資料収集を行った。また、収集した資料の口語資料としての資料性について、否定表現形式のあり方から分析した。

その成果のひとつとして、平成 21 年度近代語学会で口頭発表を行った (題名:「明治大正期関西弁資料としての上司小剣作品群の紹介および否定表現形式を用いた資料性の検討」)。なお、その際、SP 盤文字化資料における否定表現形式との比較検討を行い、学界に有益な知見を提供した。

(3)22 年度は前年度に引き続き上司小剣を中心とした明治大正期関西弁資料の資料的価値の検証をおこなった。

その成果を、学術論文「明治大正期関西弁資料としての上司小剣作品群の紹介および否定表現形式を用いた資料性の検討」(『近代語研究第 15 集』(平成 22 年 11 月刊))として公刊した。

また、大正末年生まれの関西弁漫才師「夢路いとし喜味こいし」の DVD を収集し、大正期以降の関西弁の流れを検討した。

また、資料収集の過程で得られた成果の一部を学術論文「対照表形式の近世後期上方語彙資料」(埼玉大学国語教育論叢 13)、「近世後期上方における音変化の諸相」(埼玉大学紀要 (教育学部) 60-1)として公刊した。

## 3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。大変満足できるレベルである。

その理由のひとつとして、ここ数年の間にインターネット上での情報公開が進み、資料収集が極めてやりやすくなったことが挙げられる。

理由のふたつめとしては、資料収集にかかる時間と資金を、資料のテキストデータ化およびその分析に費やすことができたために、すでに 22 年度後半から順調に学術論文の執筆と公刊ができた。

#### 4. 今後の研究の推進方策

最終年度となる 23 年度は個別的研究に力を注ぐ予定である。この調子で進めていきたい。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 4 件)

① 村上謙 (2011) 「近世後期上方における音変化の諸相」(埼玉大学紀要(教育学部) 60-1、pp. 163-176、査読なし)

② 村上謙 (2010) 「対照表形式の近世後期上方語彙資料」(埼玉大学国語教育論叢 13、pp. 1-10、査読あり)

③ 村上謙 (2010) 「明治大正期関西弁資料としての上司小剣作品群の紹介および否定表現形式を用いた資料性の検討」(近代語研究 15、pp. 101-114、査読なし)

④ 村上謙 (2009) 「近世上方における尊敬語化形式「テ+指定辞」の変遷」(日本語の研究 236、pp. 1-14、査読あり)

[学会発表] (計 1 件)

① 村上謙 「明治大正期関西弁資料としての上司小剣作品群の紹介および否定表現形式を用いた資料性の検討」(近代語学会、2009 年 6 月 13 日、白百合女子大学)

[図書] (計 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]